

工程	塗料名	塗装方法	希釈剤	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装 回数	塗装間隔 (23℃)
素地調整	さび、劣化した塗膜はサンダー、ワイヤーホイルなどで入念に取り除いたのち、全面にわたってサンドペーパー、スコッチブライト、ワイヤーブラシなどで、丁寧にこすって、こみ、汚れ、油分などを除去し清掃してください。						
補修塗り	下塗り塗料で発錆部を拾い塗りしてください。						
下塗り	ネオブラマイルド 白	はけ ローラー	塗料用シンナー	5～10	0.12～0.16	1	4時間以上 15日以内
		エアレス		10～20			
上塗り	ルーフトン Aシリコン遮熱	はけ ローラー	塗料用シンナー	5～10	0.11～0.15	2	6時間以上 7日以内
		エアレス		15～25			

※遮熱効果を高めるため下塗りは、ネオプラマイルド 白のご使用をおすすめします。

取扱い及び保管上の注意

1. 取り扱い作業場所は火気のないところで行い、屋内作業場所では局所排気装置を設けてください。
2. 塗装中、作業中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
3. 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクをつけ、さらに頭巾・保護メガネ・えり巻きタオル・保護手袋などをしてください。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. よくフタをし、40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
6. 缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。
7. 容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。
8. 本来の用途以外には使用しないでください。
9. 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。

緊急時及び応急処置

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理してください。また、容器などに付着した塗料やワックスなどで拭き取り、廃棄してください。
2. 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
3. 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静とし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 火災には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

1. 廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めにした処理業者に委託してください。

詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご覧ください。

川上塗料株式會社

特約店

本社	〒661-0001	尼崎市塚口本町二丁目41番1号	06-6421-6325(代)
営業所	仙台	024-959-4777	北日本 024-959-4777(代)
	東京	03-5661-1501(代)	金沢 076-231-1907
	浜松	052-501-8211	大阪 06-6421-6363(代)
	名古屋	052-501-8211(代)	広島 082-293-6868(代)
	九州	092-541-3461(代)	
ホームページアドレス	https://www.kawakami-paint.co.jp/		

2208.E.1.S

ルーフトンAシリコン 遮熱



川上塗料株式会社

特 徴

- 1. 省エネ・節電に役立ちます
太陽の熱の侵入を防ぎ、建物の温度上昇を抑え、冷房コストを節約します。
- 2. すぐれた耐候性
シリコン変性樹脂を使用しているので、耐候性・光沢保持性ともにすぐれ、高い耐久性を有しています。
- 3. 使いやすい1液型
ポットライフがないので、残塗料が無駄に残りません。
- 4. すぐれた作業性
塗料用シンナーに溶けるので、旧塗膜を侵すことがなく、合成調合ペイントのようなはけさばきが得られます。

用 途

一般住宅の屋根 / ビル・マンションの屋上 / 工場・倉庫の屋根
学校など公共施設の屋上 / プラント・大型構造物など

常 備 色

ホワイ・ベネチアンレッド・サンレッド・コーヒーブラウン・ナイトブルー・デープブルー・グレー
コーヒーブラック・ローヤルグリーン

容 量

14kg

標準所要量

0.11～0.15kg/㎡・回

乾 燥 時 間

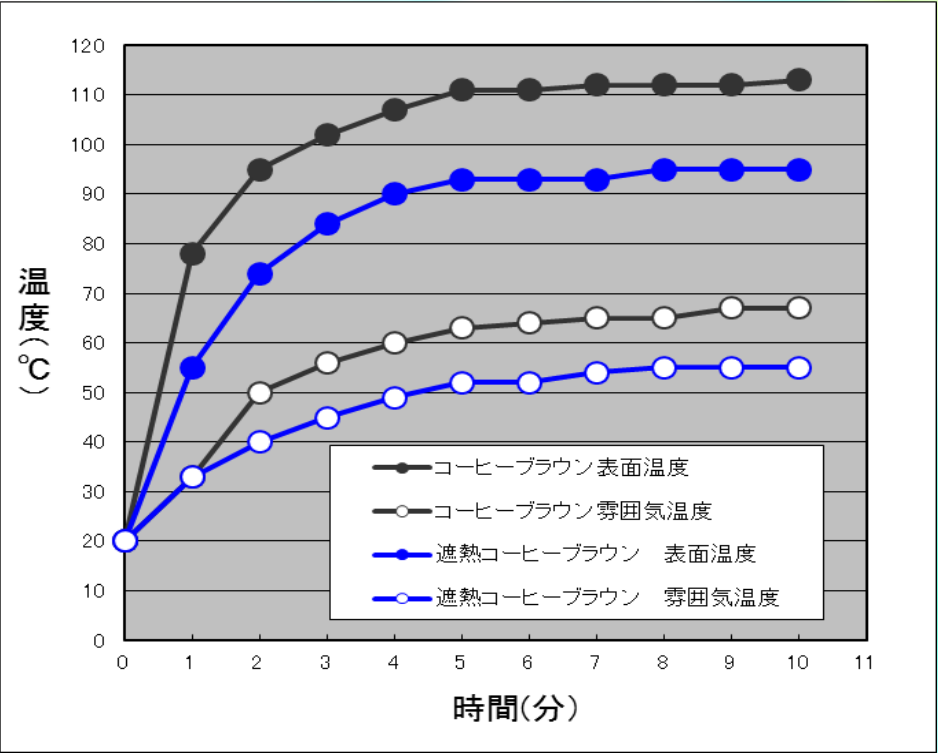
気温	5℃	20℃	30℃
指触乾燥(分)	60	20	10
硬化乾燥(時間)	36	10	8
塗装間隔(時間以上)	12	6	4

試験成績表 ルーフトンAシリコン遮熱 ホワイ

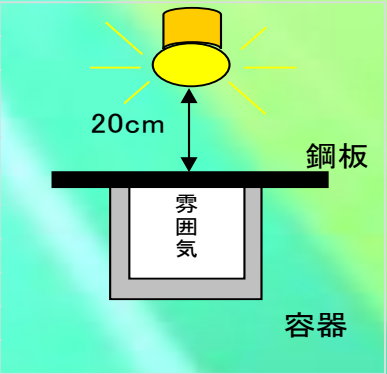
項 目	規 格	結果
容器の中での状態	かき混ぜた時堅い塊がなく、一様となるものとする	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
鏡面光沢度(60 度)	80 以上	90
重ね塗り適合性	重ね塗りに支障があってはならない	合格
加熱残分(%)	45 以上	59
促進耐候性 (キセノンランプ式)	通算480時間照射で膨れ・割れ・はがれの等級は0であり、色の変化が大きくなく、光沢保持率が75%以上とする	合格
屋外暴露耐候性	1 年間の試験で膨れ・割れ・はがれがなく、色とつやの変化が見本品に比べて大きくないものとする	合格

＊上記数値は標準のものであり、若干の変動はあります。

データで見る遮熱効果



光 源：投光器 (210W)
容 器：発泡スチロール製 黒塗り
外面縦9cm×横10cm×高さ10cm
内面縦8cm×横8cm×高さ9cm
試験板：カラー鋼板 (0.25mm厚)
光源高さ：20cm
試験時間：10分間
上記条件にて鋼材表面温度及び容器内の
雰囲気温度を測定。



鋼板表面温度で10℃～15℃の差、容器内雰囲気で5℃～10℃の差が確認できた。